

平成30年度 中央区立久松学校外部評価報告書
評価委員：前田委員、関口委員、中村委員、吉崎委員、苗木委員、川名委員、 福田委員、五味委員、酒井委員、川口委員、村上委員、岩田委員、
評価時期 平成31年2月4日（月）
1 重点目標の評価 ■重点目標1 「豊かな心と健やかな体の育成」について 評価項目 (1) 児童が主体的に思考を深め、互いの考えを豊かに表現し、共有し合う、深い学びを推進する。 (2) 違いを認め、互いに尊重し合い学び合う集団づくりを通し温かい人間関係を育む。 (3) 自らの健康・体力についての関心を高め自己管理能力を育成する。 ・教職員が熱心に褒める指導で育てている。細かくていいいに対応し児童の豊かな心と健やか体の育成を図っている。 ・世の中が便利になり、人と話をしなくても情報機器を使い一人でいろいろなことができるようになったために、人に尋ねたり、自分の言いたいことを伝えたりする力が弱くなっている。そのような状況の中で、人間関係をつくる力を学校教育が担っている。 ・子どもたちの学校の中での挨拶はよくできている。学校の外でも積極的に挨拶ができるように引き続き指導をお願いしたい。 ・児童数が増加しても、限りある校舎・校庭をできるだけ効率よく利用できるようよく工夫されており、子どもたちの運動や遊びが確保されている。 ■重点目標2 「年間を通した教育課程の充実」について 評価項目 (1) 「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を核とした 資質・能力の育成を目指した教育課程の編成 (2) 教員の授業力向上 (3) 開かれた学校づくりの推進 ・児童の暴力やいじめなど難しい問題はどこの学校でも起きうるものであるが、外部の関係機関とも連携して健全育成に努めてほしい。 ・「久松すくすくプラン」など家庭の協力が必要なものは継続的に繰り返し発信し、さらに連携して取り組んでほしい。 2 今後に向けて ・各種行事の支援、区のスポーツ行事の指導の見守りなどもどんどん発信してよいのではないか。 ・日常の参観日などではわからない特色ある教育活動、節目となる活動などはこれまで通りホームページなどで発信してほしい。 ・学校で大切にしていること（方針・重点）を理解してもらったり、教職員が一生懸命やっていることを理解してもらったりすることにつながる情報発信ができるとよい。

* 3月に各学校のホームページで公表していきます。